

主催 全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会

後援 文部科学省・日本公認会計士協会・日本税理士会連合会

第31回 (平成27年度) 全国高等学校簿記コンクール問題 (第1部)

注 意 事 項

- (1) 答案は、すべて答案用紙に記入すること。なお、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。
- (2) 机上には、競技番号札・ボールペン（黒・赤）・電卓・そろばん・定規・タイマー以外おかないこと。
なお、物品の貸借はしないこと。
- (3) 赤記すべきところは、赤のボールペンを使用すること。
- (4) 答案作成にあたっては、鉛筆および消しゴムで消せるボールペンの使用は認めない。
- (5) 記帳したものを訂正する場合は、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている方法によって訂正すること。
なお、訂正印は省略する。

1 (30点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	当座預金	普通預金	定期預金	受取手形
不渡手形	売掛金	売買目的有価証券	積送品	仮払消費税
未収金	備品	備品減価償却累計額	土地	のれん
支払手形	買掛金	借入金	未払金	仮受消費税
その他資本剰余金	自己株式	その他有価証券評価差額金	売上	受取利息
仕入割引	保証債務取崩益	固定資産売却益	仕入	減価償却費
消耗品費	租税公課	支払利息	保証債務費用	有価証券売却損
固定資産売却損	固定資産除却損	投資有価証券評価損	北関東支店	群馬支店
保証債務見返	保証債務	試用販売契約	試用仮売上	

- (1) 試用販売のため、静岡商店にA品（原価¥325,500）とB品（原価¥476,250）を試送していたが、本日、A品を買い取るとの意思表示があり、B品は返送された。ただし、原価率はA品が70%であり、B品が75%である。なお、試用品を発送するさい対照勘定を用いて処理している。
- (2) 大阪商事株式会社（決算年1回 3月31日）は、平成27年1月28日に備品を¥1,180,000で買い入れ、この代金はこれまで使用してきた備品を引き取らせ、新しい備品の代金との差額¥452,000と新しい備品の据付費用¥12,000は翌月末に支払うこととした。ただし、旧備品は平成25年4月2日に¥1,312,000で買い入れたもので、定率法（償却率25%）によって減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。なお、減価償却費は月割りで計上すること。
- (3) かねて、得意先北東商店の借入金¥1,000,000の保証人となっていたが、本日、その借入金が支払期日に返済されなかったとして、債権者から請求を受けた。よって、支払期日以降の利息¥1,000とともに小切手を振り出して支払った。なお、借入金の保証人を引き受けたさいに、対照勘定を用いて偶発債務の処理をしている。
- (4) 本店集中計算制度を採用している東日本商店は事業拡張のため、群馬支店を開設することにした。開設にさいし、群馬支店は北関東支店から売掛金¥441,000 前払金¥190,000 買掛金¥130,000を引き継ぐとともに、本店から現金¥350,000を受け取り、営業を開始した。（本店の仕訳）
- (5) 福井商事株式会社は、次の財政状態にある南西商会を取得し、取得対価は小切手を振り出して支払った。ただし、南西商会の平均利益額を¥483,000 同種企業の平均利益率を7%として収益還元価値を求め、その金額を取得対価とする。なお、南西商会の資産と負債の時価は帳簿価額に等しいものとする。
- | | | | | | |
|------|----------|-----|------------|-----|------------|
| 受取手形 | ¥500,000 | 売掛金 | ¥2,700,000 | 土地 | ¥7,900,000 |
| 支払手形 | 300,000 | 買掛金 | 2,300,000 | 借入金 | 2,000,000 |
- (6) 和歌山商事株式会社は、発行済株式のうち500株を1株につき¥80,000で取得し、保有してきたが、本日、取締役会の決議により、このうち300株を消却した。
- (7) 宮崎商店は、香川商店にX品（売価¥1,200 原価¥800）とY品（売価¥900 原価¥600）をあわせて2,500個を¥2,865,000で掛け売りしていたが、本日、香川商店からY品の一部について、品質不良があったので返品を受けた。なお、今回返品を受けた数量は販売したY品の2%にあたる。

(8) 埼玉商事株式会社は、定期預金 ¥ 1,000,000 が満期となり、普通預金口座に ¥ 1,015,937 が振り替えられた。ただし、受け取った利息には国税、地方税及び復興特別所得税の合計 20.315% が課税されている。なお、これらの税は租税公課勘定を用いて処理すること。

(9) 京都商事株式会社（決算年1回 3月31日）は、次のA社株式とB社株式の売買について、払出単価の計算を移動平均法でおこなうところ、誤って先入先出法でおこなっていたことが判明したので訂正した。

4月	3日	A社株式購入	30株	1株 ¥ 80,000
	28日	B社株式購入	80 "	" " 24,300
5月	8日	A社株式購入	50 "	" " 81,000
	15日	B社株式売却	70 "	" " 25,000
	28日	A社株式売却	40 "	" " 79,500
6月	2日	A社株式購入	60 "	" " 82,000
	15日	A社株式売却	70 "	" " 80,500
	22日	B社株式購入	50 "	" " 23,800

(10) 鳥取商店は、次の営業用コンピュータを購入し、代金はただちに小切手を振り出して支払った。ただし、コンピュータBについては金額が少額なため、消耗品費勘定で処理する。なお、消費税は決算日において、受け取った消費税と支払った消費税の差額を租税公課勘定に計上する方法によっている。

納 品 書		No. 42508	
鳥取商店 御中		平成27年7月13日	
		東京都新宿区大京町26	
下記のとおり納品いたしました。		全商商店	
品 名	数 量	単 価	金 額
コンピュータA	1台	823,000	823,000
コンピュータB	1台	162,000	162,000
小 計			¥ 985,000
消費税額 (8%)			¥ 78,800
合 計			¥ 1,063,800

2 (10点)

九州商店の7月17日の取引について記入された下記の略式の伝票によって、仕訳集計表を作成しなさい。
ただし、i 仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

- ii 1枚の伝票には、貸借それぞれ1科目だけ記入することになっている。
- iii 得意先、仕入先ごとに人名勘定を用いて起票しているが、仕訳集計表は統制勘定により集計する。

振替伝票 (借方)		振替伝票 (貸方)	
当座預金	234,900	長野商店	234,900
前受金	197,532	大分商店	197,532
受取手形	197,532	大分商店	197,532
石川商店	574,668	支払手形	574,668
愛知商店	800,000	広島商店	800,000
徳島商店	40,878	発送費	40,878
神奈川商店	72,578	当座預金	72,578
沖縄商店	161,190	前払金	161,190
支払手形	528,120	当座預金	528,120
島根商店	400,000	当座預金	400,000
受取手形	778,248	鹿児島商店	778,248
当座預金	202,500	長野商店	202,500

出金伝票	
当座預金	302,400
神奈川商店	107,784
消耗品費	15,390
島根商店	55,220
発送費	40,878

入金伝票	
当座預金	346,140
新潟商店	13,948

売上传票	
大分商店	395,064
熊本商店 (戻り)	27,000
佐賀商店	644,004
長野商店	234,900
鹿児島商店	427,356
徳島商店	451,764
岡山商店	540,540
新潟商店	213,948
高知商店	942,192
広島商店	250,452
長崎商店	897,048

仕入伝票	
沖縄商店	644,760
兵庫商店	265,788
滋賀商店	762,804
島根商店	455,220
茨城商店	431,892
愛知商店	839,160
愛媛商店	215,676
三重商店	972,000
石川商店	574,668
神奈川商店	772,578

3 (30点)

東北商店（個人企業）では、普通仕訳帳のほかに、特殊仕訳帳として当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。よって、次の1月中の取引を仕訳帳に記入し、総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、
- i すでに記入してある取引も転記すること。
 - ii 特殊仕訳帳の摘要欄には、転記に必要な商店名のみ記入すればよい。
 - iii 普通仕訳帳の摘要欄に勘定科目を記入する場合には、() を付けること。また、小書きは売掛金元帳・買掛金元帳に転記する必要があるときに商店名を記入すればよい。
 - iv 総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳への転記は、日付と金額を示せばよい。
 - v 特殊仕訳帳は月末に締め切り、合計転記は特殊仕訳帳から直接おこなうこと。

取 引

1月 6日 岩手商店に商品 ¥583,200 を売り渡し、代金はさきに受け取っていた内金 ¥130,000 を差し引き、¥357,000 については同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。なお、当店負担の発送費用 ¥3,240 を現金で支払った。

8日 岩手商店に売り渡した商品について ¥5,400 の値引きを承諾した。

9日 従業員から預かっていた所得税 ¥40,670 を小切手を振り出して納付した。

14日 山形商店に商品 ¥572,400 を売り渡し、代金のうち ¥350,000 については青森商店振り出し、富山商店引き受けの為替手形を裏書きのうえ譲り受け、¥140,000 は山形商店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。

16日 14日に山形商店から受け取った為替手形を取引銀行で割引き、割引料 ¥2,100 を差し引かれ、手取金は当座預金とした。（当座預金出納帳だけで処理する）

19日 秋田商店から商品 ¥620,500 を仕入れ、代金のうち ¥340,000 は宮城商店振り出し、当店あての約束手形を裏書譲渡し、残額は掛けとした。なお、引取費用 ¥4,320 を現金で支払った。

22日 青森商店に対する買掛金 ¥300,000 を小切手を振り出して支払った。また、秋田商店に対する買掛金支払いのため、得意先山形商店あての為替手形 ¥240,000 を振り出し、同店の引き受けを得て、秋田商店に渡した。

26日 本月分の給料 ¥473,900 から所得税額 ¥47,300 を差し引き、従業員の手取額は小切手を振り出して支払った。（当座預金出納帳だけで処理する）

28日 青森商店から商品 ¥706,400 を仕入れ、代金のうち ¥450,000 は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。

29日 青森商店から仕入れた上記商品のうち ¥15,200 は品違いのため返品した。

4 (30点)

近畿商事株式会社の第5期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の次の資料によって、精算表を完成しなさい。

ただし、i 精算表に記入するさいには、千円単位で記入すること。

ii 残高試算表欄には総勘定元帳勘定残高を付記事項によって修正した金額を記入すること。

資 料

I 総勘定元帳勘定残高

現金	¥ 1,380,000	当座預金	¥ <input type="text"/>	受取手形	¥ 3,900,000
売掛金	4,600,000	貸倒引当金	10,000	売買目的有価証券	2,650,000
繰越商品	3,120,000	仮払法人税等	1,050,000	備品	2,800,000
備品減価償却累計額	700,000	支払手形	1,870,000	買掛金	1,950,000
社債	<input type="text"/>	退職給付引当金	1,710,000	資本金	5,000,000
資本準備金	1,000,000	利益準備金	250,000	別途積立金	500,000
繰越利益剰余金	570,000	売上	55,490,000	受取手数料	248,000
仕入	38,250,000	給料	7,800,000	支払家賃	2,520,000
雑費	148,000	社債利息	140,000		

II 付記事項

- a. 取引銀行から送られてきた当座勘定残高証明書の金額は¥ 4,445,000であったので、不一致の原因を調べたところ、次のことが判明した。
- (1) 現金¥ 140,000を当座預金に入金したが、営業時間外であったため翌日入金となっていた。
 - (2) かねて、仕入先神戸商店に、仕入代金支払いのために振り出した小切手¥ 200,000が銀行で未払いであった。
 - (3) 買掛金支払いのために小切手¥ 90,000を作成して記帳していたが、まだ渡していなかった。
 - (4) 新聞代¥ 5,000が引き落とされていた。
- b. 岐阜商店に対する買掛金を支払うため、得意先奈良商店あての為替手形¥ 300,000を振り出し、同店の引き受けを得て岐阜商店に渡していたが、未処理であった。

III 決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 1,470個 原 価 @¥ 2,000
 実地棚卸数量 1,440〃 正味売却価額 〃〃 2,500
 ただし、棚卸減耗費を計上したうえで、売上原価に算入する。
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、貸倒実績率1%として貸し倒れを見積もる。
- c. 売買目的有価証券評価高 北物産株式会社 50株 帳簿価額 1株¥ 53,000 時 価 1株¥ 46,000
- d. 備品減価償却高 定率法により、毎期の償却率を25%とする。
- e. 社債評価高 当期首に次の条件で発行した社債について、償却原価法（定額法）によって評価する。
 額面総額 ¥ 3,500,000 払込金額 額面¥ 100につき¥ 96
 償還期限 5年 利 率 年4%
 利 払 い 年1回（3月末日）
- f. 家賃前払高 家賃は毎年5月末、8月末、11月末、2月末に、その翌月から向こう3か月分を前払いしている。なお、支払額は毎回同額である。
- g. 退職給付引当金繰入額 ¥ 397,000
- h. 法人税・住民税及び事業税額 ¥ 1,968,000

第31回（平成27年度）第1部〔答案用紙〕

1	
得点	

番号		氏名	
----	--	----	--

2	
得点	

3	
得点	

4	
得点	

1部	
総得点	

1 審	
-----	--

2 審	
-----	--

3 審	
-----	--

1

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

	借 方	貸 方
(8)		
(9)		
(10)		

2

仕 訳 集 計 表

平成27年7月17日

借 方	円	勘 定 科 目	円	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		前 払 金		
		支 払 手 形		
		買 掛 金		
		前 受 金		
		売 上		
		仕 入		
		発 送 費		
		消 耗 品 費		

番号		氏名	
----	--	----	--

1	
得点	

2	
得点	

総勘定元帳

現	金	1	当座預金	2
1/1 前期繰越	185,580		1/1 前期繰越	1,273,500
受取手形	3	売掛金	4	
1/1 前期繰越	884,300	1/1 前期繰越	704,000	
繰越商品	5	支払手形	6	
1/1 前期繰越	1,159,000	1/1 前期繰越	579,340	
買掛金	7	前受金	8	
	1/1 前期繰越 702,000	1/1 前期繰越	130,000	
所得税預り金	9	資本金	10	
	1/1 前期繰越 40,670	1/1 前期繰越	2,754,370	
売上	11	仕入	12	
給料	13	発送費	14	
手形売却損	15			

売掛金元帳

岩手商店	1	山形商店	2
1/1 前月繰越	340,000	1/1 前月繰越	364,000

買掛金元帳

青森商店	1	秋田商店	2
1/1 前月繰越	412,000	1/1 前月繰越	290,000

3	
得点	

精 算 表

平成27年3月31日

(単位：千円)

勘 定 科 目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	1,380							
当座預金								
受取手形								
売掛金								
貸倒引当金								
売買目的有価証券								
繰越商品								
仮払法人税等								
備 品								
備品減価償却累計額								
支払手形								
買掛金								
社 債								
退職給付引当金								
資 本 金								
資本準備金								
利益準備金								
別途積立金								
繰越利益剰余金								
売 上								
受取手数料								
仕 入								
給 料								
支払家賃								
雑 費								
社債利息								
棚卸減耗費								
貸倒引当金繰入								
有価証券評価損								
減価償却費								
前払家賃								
退職給付費用								
未払法人税等								
法人税等								
当期純利益								

4	
得点	

第31回（平成27年度）第1部〔審査基準〕

1	3点×10=30点
----------	-----------

2	2点×5=10点
----------	----------

3	3点×10=30点
----------	-----------

4	3点×10=30点
----------	-----------

1部 合計	100点
----------	------

	借 方	貸 方
(1)	売 掛 金 465,000 試 用 仮 売 上 1,100,000	売 上 465,000 試 用 販 売 契 約 1,100,000
(2)	備 品 1,192,000 備品減価償却累計額 328,000 減 価 償 却 費 205,000 固 定 資 産 売 却 損 51,000	備 品 1,312,000 未 払 金 464,000
(3)	未 収 金 1,001,000 保 証 債 務 1,000,000	当 座 預 金 1,001,000 保 証 債 務 見 返 1,000,000
(4)	群 馬 支 店 851,000	北 関 東 支 店 501,000 現 金 350,000
(5)	受 取 手 形 500,000 売 掛 金 2,700,000 土 地 7,900,000 の れ ん 400,000	支 払 手 形 300,000 買 掛 金 2,300,000 借 入 金 2,000,000 当 座 預 金 6,900,000
(6)	そ の 他 資 本 剰 余 金 24,000,000	自 己 株 式 24,000,000
(7)	売 上 8,100	売 掛 金 8,100

	借 方	貸 方
(8)	普通預金 1,015,937 租税公課 4,063	定期預金 1,000,000 受取利息 20,000
(9)	有価証券売却損 16,500	売買目的有価証券 16,500
(10)	備品 888,840 消耗品費 174,960	当座預金 1,063,800

2

仕 訳 集 計 表

平成27年7月17日

借 方	円	勘 定 科 目	円	貸 方
360,088		現 金		521,672
739,800		当 座 預 金		1,346,838
975,780		受 取 手 形		
5,038,146		売 掛 金		2,451,660
		前 払 金		161,190
528,120		支 払 手 形		574,668
2,171,440		買 掛 金		5,934,546
197,532		前 受 金		
27,000		売 上		4,997,268
5,934,546		仕 入		
40,878		送 付 費		40,878
15,390		消 耗 品 費		
16,028,720				16,028,720

1 3点×10=30点

2 2点×5=10点

当座預金出納帳

平成27年	勘定科目	摘要	元	売掛金	諸口	平成27年	勘定科目	摘要	元	買掛金	諸口
1	5	売掛金	山形商店	売2	63,000	1	9	所得税預り金	9		40,670
	6	売上		✓	357,000		16	手形売却損	15		2,100
	14	売上		✓	140,000		22	買掛金	青森商店	買1	300,000
	16	受取手形		3	350,000		26	給料		13	473,900
	26	所得税預り金		9	47,300		28	仕入		✓	450,000
					63,000					300,000	966,670
	31			4	63,000		31			7	300,000
	"			2	957,300		"			2	1,266,670
		前月繰越		✓	1,273,500			次月繰越		✓	964,130
					2,230,800						2,230,800

仕入帳 1

平成27年	勘定科目	摘要	元	買掛金	諸口
1	19	受取手形	3		340,000
		買掛金	秋田商店	買2	280,500
		現金	1		4,320
	28	当座預金	✓		450,000
		買掛金	青森商店	買1	256,400
	29	買掛金	青森商店	買1	15,200
				536,900	794,320
	31		7		536,900
	"		12		1,331,220
	"		7/12		15,200
					1,316,020

売上帳 1

平成27年	勘定科目	摘要	元	売掛金	諸口
1	6	前受金	8		130,000
		当座預金	✓		357,000
		売掛金	岩手商店	売1	96,200
	8	売掛金	岩手商店	売1	5,400
	14	受取手形		3	350,000
		当座預金		✓	140,000
		売掛金	山形商店	売2	82,400
				178,600	977,000
	31		4		178,600
	"		11		1,155,600
	"		11/4		5,400
					1,150,200

(注) 純売上高の1,150,200は、上部に単線、下部に複線がなければならない。

普通仕訳帳

平成27年	摘要	元	借方	貸方	
1	1	前期繰越高	✓	4,206,380	4,206,380
	6	(発送費)	14	3,240	
		(現金)	1		3,240
	22	(買掛金)	7/買2	240,000	
		(売掛金)	4/売2		240,000
		秋田商店			
		山形商店			

総勘定元帳

現 金		1	当 座 預 金		2
1/1 前期繰越	185,580	1/6	3,240	1/1 前期繰越	1,273,500
		19	4,320	31	957,300
受 取 手 形		3	売 掛 金		4
1/1 前期繰越	884,300	1/16	350,000	1/1 前期繰越	704,000
14	350,000	19	340,000	1/22	240,000
				31	63,000
				"	5,400
繰 越 商 品		5	支 払 手 形		6
1/1 前期繰越	1,159,000			1/1 前期繰越	579,340
買 掛 金		7	前 受 金		8
1/22	240,000	1/1 前期繰越	702,000	1/6	130,000
31	300,000	31	536,900	1/1 前期繰越	130,000
"	15,200				
所 得 税 預 り 金		9	資 本 金		10
1/9	40,670	1/1 前期繰越	40,670	1/1 前期繰越	2,754,370
		26	47,300		
売 上		11	仕 入		12
1/31	5,400	1/31	1,155,600	1/31	1,331,220
				1/31	15,200
給 料		13	発 送 費		14
1/26	473,900			1/6	3,240
手 形 売 却 損		15			
1/16	2,100				

売掛金元帳

岩手商店		1	山形商店		2
1/1 前月繰越	340,000	1/8	5,400	1/1 前月繰越	364,000
6	96,200			1/5	63,000
				14	82,400
				22	240,000

買掛金元帳

青森商店		1	秋田商店		2
1/22	300,000	1/1 前月繰越	412,000	1/22	240,000
29	15,200	28	256,400	1/1 前月繰越	290,000
				19	280,500

3	3点×10=30点
---	-----------

精 算 表

平成27年3月31日

(単位：千円)

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1,380						1,380	
当座預金	4,385						4,385	
受取手形	3,900						3,900	
売掛金	4,300						4,300	
貸倒引当金		10		72				82
売買目的有価証券	2,650			350			2,300	
繰越商品	3,120		2,940	3,120			2,880	
				60				
仮払法人税等	1,050			1,050				
備品	2,800						2,800	
備品減価償却累計額		700		525				1,225
支払手形		1,870						1,870
買掛金		1,740						1,740
社債		3,360		28				3,388
退職給付引当金		1,710		397				2,107
資本金		5,000						5,000
資本準備金		1,000						1,000
利益準備金		250						250
別途積立金		500						500
繰越利益剰余金		570						570
売上		55,490				55,490		
受取手数料		248				248		
仕入	38,250		3,120	2,940	38,490			
			60					
給料	7,800				7,800			
支払家賃	2,520			360	2,160			
雑費	153				153			
社債利息	140		28		168			
	72,448	72,448						
棚卸減耗費			60	60				
貸倒引当金繰入			72		72			
有価証券評価損			350		350			
減価償却費			525		525			
前払家賃			360				360	
退職給付費用			397		397			
未払法人税等				918				918
法人税等			1,968		1,968			
当期純利益					3,655			3,655
			9,880	9,880	55,738	55,738	22,305	22,305